



日立市コミュニティ推進協議会 花いっぱい運動で国体応援・地域の活性化事業で未来へつなぐ

2019年に開催される茨城国体に向けて、国体推進委員会を立ち上げ、昨年度から23コミュニティと共に、花いっぱい運動に取り組んできました。今

年度はプランターで育てた花をリハーサル大会会場や日立駅・常陸多賀駅などに飾ります。これを契機に地域の活性化につながる活動にも取り組みます。

23コミュニティ【花いっぱい運動】

「いきいき茨城ゆめ国体2019」に向けて、コミュニティ推進協議会国体推進委員会が中心になってプランターに花を植え、子どもたちが心のこもった応援メッセージを書いて添えています。

豊浦学区では、地域の住民が豊浦小学校、豊浦中学校、日立北高等学校の児童生徒とともに、国道6号沿いの両側を花いっばいに広

げる花壇の整備を定期的に行っています。子どもたちは、花壇にきれいに咲いた色とりどりの花をイメージし、デザインして植え付けています。

また、小学校から高校に通じるイチヨウ並木の道路では、道路里親制度を生かし、道路沿いの地域住民の協力で季節の花を植え、通る人たちを楽しませています。

以前から「花いっぱい運動」に取り組んできましたが、来年の国体に向けて、さらに美しく花いっばいの学区を目指しています。

住民が中心になり、他地域の人たちも参加して海岸清掃を展開しています。

普段から、海岸線に沿ってゴミ拾いをしながら散歩する人たちも多く見受けられますが、波に運ばれてくるゴミや海藻などは、想像以上の物量になっています。

日立の海は県外からも大勢の海水浴客が訪れる場所であり、いつでもきれいで美しい海岸でありたいと努力しています。



小学生も花いっばいの活動に!!!

地域の様々な【クリーン作戦】

各学区では公園や海岸など地域清掃にも力を入れています。

毎年7月の海開きを前に、コミュニティの声掛けで海岸沿いの



市民みんなで海岸清掃

茨城国体を契機に新たな取組 活性化事業の企画書出そう!

コミュニティの活性化のための事業

単会での課題解決や地域の活性化に向けて、それぞれが工夫を凝らした事業に取り組んでいます。今後も地域の一体感を高める活動を続けます。

学区・地区	事業の内容
十王	昔遊びや折り紙などの指導者を育成するための実技研修会の開催
豊浦	夏まつり花火大会、市民体育祭、三世代文化祭に加え地域活動の楽しさをアピールする企画の実施
日高	「ふるさとひたかマップ」(交流センター設置看板)の更新
田尻	①学区役員、田尻小PTAによる学区内防災・防犯予防巡回の実施 ②民生委員、協力者による要援護者や1人住まいの自宅巡回
滑川	市道壁面の壁画の更新 小・中学生、コミュニティ、各団体の作品を掲示
宮田	地域住民が抱える問題に関する講演会の実施
中里	①レーシングカー及び走行コースの作成、競技大会の実施 ②自由にパンボンができる環境の整備及び競技大会の実施
仲町	児童・生徒の安全確保のため歩道橋清掃や通学路の雑草刈り、立木整備
中小路	鹿島アントラーズによる児童・生徒向けサッカー教室開催
助川	助川学区夏祭りの工夫改善 若者グループの発表、レイアウトの改善等
会瀬	ごみ収納ボックスへの国体記念表示及びごみ集積所周辺の清掃
成沢	地域交流の場を作るための持ち運び可能な分割型ステージの製作
油繩子	市の諸制度、地域の情報等を記載した町内会・自治会の便利帳作成

学区・地区	事業の内容
諏訪	損傷の激しい広報看板の更新
大久保	多賀市民プラザへのコミュニティ活動専用掲示板の設置
河原子	交流センターの場所をわかりやすく案内するための看板の設置
塙山	まちづくりを次世代につなぐための仕組みづくり(まちづくり応援隊の育成)
大沼	中ノ沢公園の整備
金沢	霞ヶ浦湖上体験スクールを活用した「生涯学習かねさわ」の体験学習の開催
水木	「かかし&イルミネーション祭り」及び子ども会との共催によるクリスマス会の実施
大みか	①交流センター設立20周年記念誌の発行 ②ごみ収納ボックスへの国体記念表示
久慈	歓迎イベントの実施 ①小学生による炬火リレー ②魚介類の無料おもてなし③地域の方によるパフォーマンス④こどもみこし
坂下	ひとり暮らし高齢者のゴミ出しボランティアが着用するベスト等の整備

教育委員会・地域・学校などとの協働事業に取り組む

地域の人材や団体が参画し、コミュニティの特色を生かし、地域全体で子どもたちの健やかな成長を支える新たな活動が進められています。

放課後子ども教室事業

田尻・滑川・塙山の3小学校区 子どもたちの成長を支えます！

すべての児童が放課後に安全に活動できる場を確保し、学習や様々な体験、地域住民との交流活動を行うことで、次代を担う子どもたちの健全な育成を支援することを目的に、平成29年度から放課後子ども教室事業がスタートしました。

日立市生涯学習課の委託を受けて、平成30年度は田尻小・滑川小・塙山小学校区で週1回、放課後の午後3時から午後6時まで実施しています。(夏休み、冬休み、

春休みを除く)

自由遊び、学習支援、スポーツ、体験プログラムなどを組み合わせて、コーディネーター、活動サポーター、外部講師などで運営、小学校併設の児童クラブとの合同プログラムも月1回程度実施しています。今後も多彩なプログラムを用意して、活動を通して子どもたちの成長を支えます。

現在活動している3つの放課後子ども教室を紹介します。日々の活動に加え特色ある楽しいプログラムも実施しています。

田尻教室は「NPO法人ひたち親子の広場」が受託、田尻小学校の専用教室と体育館を主会場



田尻 コミュニケーションゲームを楽しみ



滑川ドッチビーに挑戦

に、仲良くなろう！コミュニケーションゲーム、科学おもしろ実験ショー&科学工作などを行いました。

滑川教室は「NPO法人滑川ファミリースポーツクラブ」が受託、滑川市民体育館や滑川市民広場、滑川小体育館を主会場に、バタ作り体験、ドッチビー、ユニカール(床の上で行うカーリング)などを行いました。

塙山教室は「塙山学区住みよいまちをつくる会」が受託、塙山交流センターや塙山小体育館などを主会場に、走り方教室、ディスクゲッター、ひたち郷土かるた、絵手紙を書こう！などを行いました。



塙山 ディスクゲッターを体験

地域の創意工夫で、時代のニーズに 応える住んでいてよかったと思えるまちづくり！

学区・地区	会長	交流センターTEL
十王	深津 正孝	39-2411
豊浦	立川 伸平	43-5755
日高	志賀 勝弘	42-4050
田尻	大森 健一	42-1552
滑川	遠藤 進	22-1654
宮田	田尻 久	27-6835
中里	石川 諒一	70-8005
仲町	福地 稔昌	21-5564
中小路	吉岡 保夫	22-6483
助川	秋山 竹彦	23-0955
会瀬	柴田 和彦	25-1577
成沢	藤井 正孝	35-5587
油縄子	白玉 敏夫	38-7531
諏訪	持田 幸雄	33-3841
大久保	作山 英一	34-0535
河原子	鈴木 茂弘	33-3746
塙山	西村ミチ江	34-5404
大沼	蘭部 三吉	35-8329
金沢	泉 聡二	36-3985
水木	佐藤 孝志	52-3225
大みか	小松 信保	53-5211
久慈	五来 健夫	52-0165
坂下	大塚 雅夫	52-3155

※お問合せ、ご相談は交流センターへ

学校運営協議会制度 新たな視点でモデル校指定9校

日立市では、地域と共にある学校づくりのため、「コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)」を導入し、学校運営に地域の声を積極的に生かし、特色ある学校づくりを地域と一体となって進め、質の高い学校教育の実現や地域の教育力向上を図る事業に取り組んでいます。

平成29年度は、会瀬小、駒王中の2校をモデル校として指定し、既存の組織をつなぎ発展させると同時に、地域との連携・協働を推進し、実践報告会も行いました。

平成30年度はモデル校として9校を指定し、会瀬小はガイドブック

を活用した取組、駒王中・宮田小・中小路小は駒王中学校区で一つの運営協議会を設置、中里小・中里中は小中9年間の学びの連続性を踏まえた効率的な運営、塙山小は3つの中学校区にまたがる小学校の取組、豊浦小・豊浦中は小中連携の取組などを小・中それぞれが検討するなど、新たな視点で検証が行われています。また、地域によっては地域学校協働本部を設置し、地域の窓口となるコーディネーターをおき、学校支援や地域活動の調整、ボランティアの確保などを行っています。

今後、教育振興基本計画に位置付け、日立らしい学校運営協議会制度の拡充を図っていきます。

学区コミュニティと小学校一体で 防災授業で親子の意識を高める訓練

東日本大震災から7年が経過し、忘れないために普段の訓練が大切であることから、会瀬学区コミュニティ推進会では、6月9日(土)午前7時20分に地震が発生したと想定して、学区と小学校が一体となった自主防災訓練を、日立市消防本部と第四分団、市の保健師の協力で実施しました。

今回、学校の協力によって児童と保護者が、9時30分までに通学班の集合場所へ避難(登校)しました。学校に避難した後は地区ごとに避難者カードを提出、開会式の後、訓練に入りました。

保護者は子どもたちの訓練授業



を参観、地域の人たちと1・2年生は、消防車や備蓄物品倉庫の見学、体育館でのDVD「釜石の奇跡 子どもたちが語る3・11」を大型スクリーンで視聴しました。

3年生は防災学習「災害ケーススタディ」、4年生はNHKの教材を活用しての学習、5・6年生はNHK教材を使って「熊本地震から学ぶ」被災地からのメッセージ授業を行いました。訓練終了後は湯で温める非常食の試食も行いました。

参加した親子から、「防災訓練では地震や台風など、災害時の身の守り方を学びました。助けてもらうだけでなく、自分の力で身を守らなければいけないことを学んだ一日でした」と感想がありました。

児童引渡し後、子どもと一緒に通学路の危険な場所の確認と、とっさの時にどう行動すればいいのかを話し合いながら下校しました。654名が参加した自主防災訓練でした。

もっと日立が好きになる！ 日立の魅力再発見ウォーク

各コミュニティが地域の特色を生かした魅力的なコースを企画しています。コース内容や申込みなど詳細は、市報やコミュニティ推進協議会ホームページ、日立市ホームページをご覧ください。

平成30年度 日立の魅力再発見ウォーク実施日

学区・地区	実施日	市報掲載
1 会瀬	9/30(日)	9月5日号
2 豊浦	10/6(土)	
3 大久保	10/13(土)	
4 大沼	10/13(土)	
5 水木	10/13(土)	
6 宮田	10/14(日)	
7 成沢	10/19(金)	
8 十王	10/20(土)	
9 滑川	10/21(日)	
10 河原子	10/21(日)	9月20日号
11 坂下	10/24(水)	
12 諏訪	10/28(日)	
13 仲町	10/28(日)	
14 油縄子	10/28(日)	
15 大みか	11/4(日)	
16 久慈	11/10(土)	
17 中里	11/11(日)	
18 田尻	11/11(日)	
19 助川	11/15(木)	
20 中小路	11/17(土)	
21 日高	11/24(土)	

日立市一斉ラジオ体操の日 23コミュニティでも取り組む

7月22日(日)、日立市全域でラジオ体操が行われました。日立市ラジオ体操普及協議会が、夏休み最初の日曜日(今年は7月22日)を「日立市一斉ラジオ体操の日」として決めました。23コミュニティを中心に、夏休みチャレンジ・ラジオ体操も併せて実施しました。

夏休みチャレンジ・ラジオ体操に参加した子どもたちや各種団体などは、郷土の誇りである遠山喜一郎さんの意志を引き継ぐことができました。

諏訪学区の介護支援グループ 脳を鍛えるための認知症予防教室

諏訪学区も少子高齢社会を迎え、諏訪小学校の児童数は287名に激減し、高齢化率も30.4%と3人に1人は65歳以上という状態になっています。

このような社会環境の中で安心して生活していくために、介護支援グループは「出前介護講座」を立ち上げ、古河赤十字病院等の介護技能研修に参加するなど、自己研鑽に努めるとともに、サロンや自治会などで在宅介護の基本的な実技や介護について指導を行ってきました。

しかし、最近では高齢者の5人に1人は認知症になると言われる時代に入り、今年度から「認知症予防教室」を行うことにしました。



昨年から認知症サポーター養成講座等を受講し、今年5月には日立梅ヶ丘病院主催の「脳いきいきデイケア」認知症予防講座に全員が参加しました。

6月18日の「第1小咲台ふれあいクラブ」を皮切りに、認知症予防教室をスタートしました。

主な内容は、①いきいき脳を保つ生活習慣、②プリントやゲームによる脳トレ、③発声練習、④調理、⑤会食と歌、などです。楽しい雰囲気なかで会話も弾み、脳の活性化を図ることができました。





単会の活動紹介 時代のニーズに応えた特色ある取組

日立市コミュニティ推進協議会全体で進める活動のほか、コミュニティ単会が地域の実態に合わせて、創意工夫して実施している活動があります。時代のニ

ーズに応えた地域福祉、青少年育成、防犯・防災活動など、他の単会の参考になるような特色ある単会の取組を紹介していきます。

高齢者の見守り

ふれあい再生資源回収・文庫本の貸出しも！ 金沢学区コミュニティ推進会

高齢化率40%超（日立市で2位）の当学区では、高齢者支援に関する取組を最重要課題として日々活動しています。

現在、140のネットワークチームがあり、あんしん・安全ネットワーク事業を展開しています。

安否確認訪問活動の一つとして、ふれあい再生資源回収（小型家電品や廃油含む）を、平成25年度から毎月1回実施、同時に文庫本の貸出しもしており好評です。この事業の対象者10数名は、民生委員・児童委員が決め、地域福祉推進員と交流センター協力員が回収に伺い、地域福祉部員が回収物

の仕分けを支援しています。

また、提案型地域福祉事業の「ネットワーク協力者のつどいの場づくり」では、平成27年度から対象者と協力者共有の携帯型SOSカード作成配布や誕生日プレゼントなどを行っています。

平成30年度は、「安心・安全ネットワーク強化モデル事業」として、援助が必要な方のなかで、特に家族や親族が県外の方、介護認定の一人暮らし高齢者の中から数名を強化対象者に選出しました。今まで以上に定期訪問を増やし、生活状況を詳しく把握して、ケア活動を展開しています。

この取組は、強化モデル事業担当者が、ネットワークチームの方やホームヘルパーなどから週1回、

対象者の生活状況を確認、月1回以上の定期訪問をして生活状況を把握します。外出が困難であるなどの問題があれば、関係者を集めてケア会議を開催、課題の共有化を図り、具体的なサービスの提供などを行っています。

対象者の方が安心して健やかに過ごせるよう、横のつながりを密にした支え合いの仕組みづくりを実践しています。



完廃した庭の片付け

平成30年度

夏休み期間 3小学校のプール開放

小学生を対象に、水に親しむ機会を提供して健康と体力の増進を図る一助とするため、塙山小学校、大沼小学校、滑川小学校のプールが開放されました。

日立市スポーツ振興課の委託を受け、塙山小は「NPO法人塙山コミュニティクラブ」、大沼小は「ひたちみなみスポーツクラブ」、滑川小は「NPO法人滑川ファミリースポーツクラブ」が業務を行い、7月23日(月)から10日間～15日間開放されました。

例年になく暑い夏、多くの子どもたちの歓声がプールサイドに響き渡りました。

百年塾フェスタ&

日立市子どもまつり2018

ひたち生き生き百年塾推進本部

今秋10月28日(日)、恒例の百年塾フェスタが日立シビックセンター・新都市広場・マーブルホールなどを会場に開催されます。今年で設立30周年を迎える百年塾は、かねてからの願いであった日立市子どもまつりとの共同開催が実現しました。「“いいね”でつながろう 夢まち 未来～輝け！元気ひたちっ子～」をテーマに、子どもも大人も楽しめる、より一層賑わいのあるフェスタにしたいと工夫を凝らしています。

見どころのひとつは、これまでフェスタのボランティアとして参

加をしてきている日立二高が、日立初の高校生による「お花のじゅうたん」の制作に取り組むというものです。新都市広場中央に、来場者と共に生花を並べて、大きな絵を描く夢のある企画です。

チャレンジゲームをはじめ、たくさんの遊びのブースがある子ども会エリアや、市民が思い思いの衣装で参加して楽しむ、ハロウィンパレードもあります。

百年塾では今年のフェスタを通して、さまざまな団体と連携・協力することで互いの良さを最大限に発揮し、より多くの市民のみなさんに楽しんでもらえる賑わいづくりの創出につながることを実証していきます。